



2022年5月11日

各 位

会 社 名 富士急行株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 堀内 光一郎
コード番号 9010 (東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員経営管理部長
相川 三七男
T E L (0555)22-7120

富士急グループ「2022-2025年度」中期経営計画について

当社、富士急グループ「2022-2025年度」中期経営計画について、お知らせいたします。

近年、当社を取り巻く環境は、コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動の停滞が長引くとともに、DXが急激に発達・浸透し、顧客の生活様式や価値観、ニーズ等が大きく変化しました。

このような中、中期経営計画における2022年度は、足場固め、変化に対応する体制整備に努める1年とし、その後の3年間で成長期間として位置付けました。

この前提を踏まえ、中期経営計画における事業計画数値は、2022年度単年度のみとし、来期に改めて2023年度からの3ヶ年間の事業計画数値を公表します。

今後の中期経営計画の概要は別紙のとおりです。

以 上

1. 富士急グループの経営基本方針

創業精神「富士を世界に拓く」



2. 中期経営計画

富士急グループは、「超日常」の創造により、社会的価値と経済的価値の両立を目指します。

⇒ 富士急ハイランドは、富士山エリアのゲートウェイとして、富士山観光客の取り込み強化とライドパークとしての進化を図ってまいります。

数値目標

2022年度は収益力を強化し、2023～2025年度はインバウンド需要等を取り込む、成長戦略を推進する年と位置付けております。

2023年度に「3ヶ年間の事業計画」を公表する予定です。

	2022年度(計画)	2021年度
営業収益	416億40百万円	350億83百万円
営業利益	35億20百万円	7億61百万円
売上高営業利益率	8.5%	2.2%
経常利益	31億20百万円	4億89百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	14億50百万円	3億76百万円
ROA	3.2%	0.5%
有利子負債 (金融機関借入金+社債+リース債務等)	617億40百万円	629億30百万円

以上

本資料のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、現時点における情報に基づき作成しております。
実際の業績は、様々な要因の変化により記載の予想数値と異なる可能性があります。